

## 日本の伝統花きセンリョウの輸出を見据えた輸送及び病害虫対策技術の確立

〔分野〕	野菜・花き
〔分類〕	実証研究型
〔研究代表機関〕	茨城県農業総合センター（センリョウ輸出コンソーシアム）
〔参画研究機関〕	（研）農研機構野菜花き研究部門、高知県 （普及担当機関）茨城県鹿行農林事務所、高知県安芸農業振興センター
〔研究・実証地区〕	茨城県神栖市、高知県室戸市

### I 目指す地域戦略と研究の背景・課題

#### 1. 地域戦略の概要

アジア圏におけるセンリョウの新たな需要拡大を視野に、輸出を見据えた輸送技術と検疫に対応した病害虫防除技術の確立により生産性の向上と安定化を図り、センリョウの海外輸出及び国内販売を対象に販売額を1割向上させる。

#### 2. 研究の背景・課題

センリョウは正月の縁起物として販売される日本の伝統花きであるが、生活スタイルの変化や病害虫の発生により、価格や生産量の低下が起こっている。一方、台湾等のアジア圏では春節の飾りや生け花等に利用されるなど新たな需要が期待される。そこで、センリョウの輸出を見据えた輸送技術と検疫に対応した病害虫防除技術を確立し、高品質センリョウの安定供給による海外需要の拡大を図る。

### II 研究の目標

- ・船便によるセンリョウの輸送技術確立：上位等級の品質保持率が90%となる技術を確立。
- ・検疫に対応した病害虫対策技術確立：圃場から出荷される上位等級の割合を10%増加させる技術を確立。

### III 研究計画の概要

#### 1. 船便によるセンリョウの輸送技術の確立

##### （1）収穫後生理特性に基づいたセンリョウの出荷から輸出時の品質管理技術の開発

温度感応などセンリョウの収穫後の生理変化や、産地での処理条件等の環境の違いによるセンリョウの品質保持期間の変化を調査し、日持ち向上に有効な処理技術を開発するとともに、出荷産地から輸出先までの品質保持期間を明らかにする。

##### （2）船便出荷を想定したコンテナでの実証試験

確立した品質保持条件に基づき実際の輸送コンテナによる船便出荷を行い、開発した品質管理技術を実証する。

#### 2. 輸送及び検疫に対応した病害虫対策技術の確立

##### （1）輸送先までを考慮した炭疽病防除体系の確立

センリョウの炭疽病について、輸送先までの防除効果を加味した薬剤の選定や耕種的防除の検証により防除体系を確立し、生産現地で実証する。

##### （2）生産性向上及び検疫対応のための病害虫の産地実態把握と防除法の検証

検疫の対象となる病害虫の発生実態の把握、産地で発生する原因不明症状の診断を進め、病害虫の原因を特定できたものについては防除の実証を行う。

# 日本の伝統花きセンリョウの輸出を見据えた輸送及び病害虫対策技術の確立

センリョウの船便輸送のための品質管理技術と輸送及び検疫に対応した病害虫対策技術を確立する。

センリョウ:日本の伝統花き、全国卸売市場(60社)の枝もの類全体の10%を占める主要品目

## 船便によるセンリョウの輸送技術確立

(研) 農研機構野菜花き部門

・出荷から輸出時の管理技術の開発と実証

## 輸送及び検疫に対応した病害虫対策技術確立

高知県農業研究センター

・炭疽病防除体系、検疫対応のための防除法確立



船便によるセンリョウの輸送技術確立  
輸送及び検疫に対応した病害虫対策技術確立  
茨城県農業総合センター鹿島地帯特産指導所(代表機関)  
・船便出荷を想定したコンテナでの実証試験  
・炭疽病防除体系、検疫対応のための防除法確立

## 輸出体系確立

↓  
本格出荷へ



## 普及担当: 実証圃場、輸送試験、病害虫調査等

茨城県鹿行農林事務所、高知県安芸農業振興センター、(株)ミゾグチファーム、波崎千両出荷組合  
JAしおさい波崎千両部会、JA土佐あき芸東集出荷場千両部会

・実証圃場、輸送試験、病害虫調査等

・対象地域の販売額10%増  
・センリョウ生産農家の経営向上

## 1. 船便によるセンリョウ輸送技術確立

### (1) 収穫後生理特性に基づいたセンリョウの出荷から輸出時の品質管理技術の開発

センリョウの収穫後生理検証 保存環境の違いによる品質保持期間の検証

→出荷産地から輸出先までの品質保持期間の解明

### (2) 船便出荷を想定したコンテナでの実証試験

国内: 輸送シミュレーション(出荷用コンテナを使用)

海外: 出荷から輸送先までの実送



輸送温度、エチレン、品質保持剤等調査→収穫後生理の解明



産地での処理条件や輸送温度等の環境の違いによるセンリョウの品質保持期間の変化を調査



出荷用コンテナを使用した国内実証試験



海外(台湾)への実送による最終評価

## 2. 輸送及び検疫に対応した病害虫対策技術確立

### (1) 輸送先までを考慮した炭疽病防除体系確立

炭疽病の輸送先までの防除効果を加味した薬剤の選定や耕種的防除の検証により防除体系を確立

### (2) 生産性向上及び検疫対応のための病害虫の産地実態把握と防除法検証

検疫の対象となる病害虫の発生実態把握のため、産地で発生する原因不明の症状を類別

→病害虫の特定と防除薬剤の選定



センリョウ炭疽病に対して、防除価の高い薬剤を選定(薬剤効果および耕種的防除の検討)



産地で発生する原因不明の症状の類別  
→病害虫の特定、防除薬剤の選定  
(アザミウマ類、線虫類等)



生産圃場での防除体系の実証